

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日： 2024年 3月 24日

<p>テーマ名</p>	<p>中小企業におけるサイバーセキュリティ対策等に有効な無償・安価ツールの研究 ～サイバーセキュリティお助け隊サービスの研究2023～</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>特定非営利活動法人ITCちば経営応援隊</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p><a href="https://npo-chiba-keiei-oentai.org/manabi/kenkvukai/">https://npo-chiba-keiei-oentai.org/manabi/kenkvukai/</a></p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 松下正夫 電話番号：09062352927 e-mail：mapstar@kjc.biglobe.ne.jp</p>	<p>(担当者氏名) 電話番号： e-mail：</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p><b>【実施内容】</b>                  私たちは、昨年度に引き続き、IPAが公開する「サイバーセキュリティお助け隊サービス」の調査・分析・評価を研究テーマと定めて活動を実施した。                  今年度の研究対象は、2024年1月16日時点でIPAホームページに公開されていた55サービスの内、基本的にサービスが全国で展開され詳細な情報が提供者のホームページ等で公開されている30のサービスとし、昨年度調査した10サービスに加え新たに20サービスを調査対象範囲に加えて実施することとした。</p> <p><b>【研究サマリ】</b>                  昨年度は、「最適なサービスの選択肢」に至るアプローチとして、企業環境やニーズに関して典型的な3つのケースを想定し、各ケースでの最適なサービスを選定し明示することができたが、個々の企業のケースにおいてより客観的な選択肢の提示ができないかという課題を残すこととなった。                  今年度は、これらの課題を解決するため、以下の2つのアプローチを試行した。                  1つ目は、各サービス評価基準の数値化である。                  2つ目は、評価項目に「個別企業の重みづけ」をできるようにしたことである。                  以上のように2年間通じて本テーマに関する研究を進めた結果、お助け隊サービスの選択に際して、専門家や支援機関担当者と経営者やIT責任者がひざを交えてディスカッションするための一つのアプローチ方法を整理することができたと考えている。                  それが具体的にどのような内容なのか、実際に現場で使えるものなのか等については、是非、読者の皆様に評価して頂き忌憚のないコメントを頂ければと思う。</p>	
<p>成果物</p>	<p>・<b>テーマ研究報告書</b>                  「中小企業におけるサイバーセキュリティ対策等に有効な無償・安価ツールの研究」                  ～サイバーセキュリティお助け隊サービスの研究2023～                  &lt;目次&gt;                  はじめに                  1.テーマ選定の背景と本研究の目的                  2.サイバーセキュリティお助け隊サービスとは                  3.調査研究結果                  4.実証実験結果と考察(事例研究)                  おわりに</p> <p>・<b>別紙：調査資料「サービス比較一覧表2023」</b></p>	

<p>事務局受付日</p>	<p>2024/3/25</p>
<p>案件番号</p>	<p>S23003</p>